

Europe Indicators

発表日: 2020年8月12日(水)

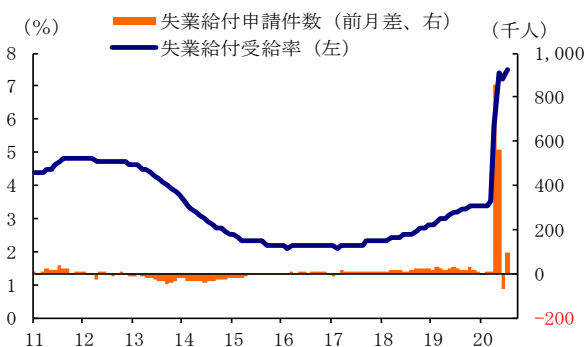
欧州経済指標コメント: 8月英国労働統計

～実態把握が難しいコロナ禍の雇用情勢～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

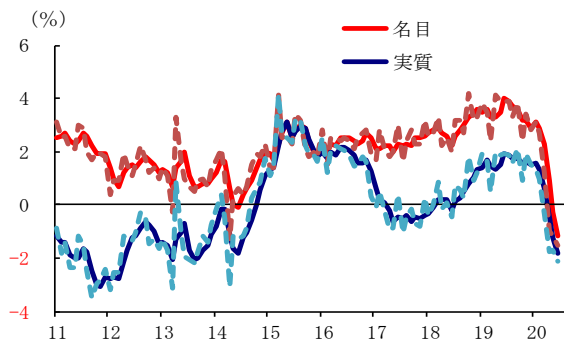
- 11日発表の労働力調査ベースの英国の失業率は、6月から遡って3ヶ月の移動平均値で3.9%と4ヵ月連続で同水準。コロナ危機発生後も同統計では失業率の上昇が確認されず。新たに計算に加わった6月値は3.76%と、同一サンプルの3月値(3.82%)から低下。就業者数が3ヵ月連続で前月から減少し、同一サンプルと比較した3ヵ月前比でも22万人減と2009年以来の落ち込みを記録したが、労働力人口がそれを上回って減少した。政策支援に支えられた一時休業者の急増に加えて、求職活動を諦めた労働市場からの退出者の増加が失業率の上昇を抑制している。
- 速報性の高い失業給付ベースの失業率は7月に7.5%に上昇(前月は7.2%)。コロナ危機以前に3%台半ばで推移していたため、こちらは明確に雇用情勢の悪化を反映。但し、コロナ対応の特例で失職前の労働者の一部が失業給付の対象に含まれているため、同計数は逆に失業者の増加を過大評価している可能性がある点に注意。より正確に雇用の実態を反映する源泉徴収データ(PAYE)に基づく雇用者数は7月に11.4万人減少し、3月からの累計で73.0万人減少している。
- 全産業の週当たり賃金(賞与を含む)は、6月から遡って3ヶ月の移動平均で前年比▲1.2%と前月から下落幅が拡大。賞与を除く賃金が同▲0.2%と現行統計が確認可能な2000年以来で初のマイナス圏に転落したほか、賞与が同▲19.4%と大幅なマイナスとなった。

■英国: 失業率と失業給付申請件数



出所: 英国統計局

■英国: 週当たり賃金・賞与(全産業、前年比)



注: 実線は3ヶ月移動平均値

出所: 英国統計局

■英国の失業給付・平均賃金

	2019			2020									
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
失業率(失業給付、%)	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5	5.8	7.4	7.2	7.5	
失業給付件数(前月差、千人)	16.3	13.5	26.4	15.0	2.6	-0.2	5.9	5.4	858	565	-69	94	
失業率(労働力調査、%) (単月の失業率、%)	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	-	
就業者数(前月差、千人)	3.75	4.02	3.52	3.87	3.93	3.95	3.97	3.82	3.88	4.07	3.76	-	
週当たり賃金(産業計、前年比、%)	-56	-58	24	208	181	184	172	210	6	-125	-220	-	
賃金	3.7	3.6	3.2	3.2	2.9	3.1	2.9	2.3	0.9	-0.3	-1.2	-	
ボーナス	3.8	3.6	3.5	3.3	3.2	3.1	2.9	2.7	1.7	0.7	-0.2	-	
	1.7	4.1	-4.1	-1.4	-5.1	3.6	1.0	0.6	-7.0	-13.4	-19.4	-	

注: 労働力調査基準の失業率、就業者数、週当たり賃金は当月で終わる3ヶ月移動平均 出所: 英国統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。